



“楽しい”鑑賞授業づくりのためには、まず先生自身が鑑賞し、その曲に対する様々な思いを持つことが必要です。そこで、『教材研究シート』を用意しました。なお、この【解説編】が聴き方の全てではありません。また、感じ方も人それぞれです。ここには書かれていない、だれも思い付かないようなことを書けたらすてきです。＜あなたならではの＞感性を大事にしてください。

〔第1回 3年生① 解説編〕

「ユモレスク」（ドボルザーク作曲）

※教育出版〈学びリンク〉で、映像と楽譜を見ることができます。

使用する教科書とCDは、教育出版です。一度で聴き取ろうと思わずに、必要に応じて繰り返し何度でも聴いてみましょう。

【聴1】CDのトラック16を聴いて、全体の雰囲気を感じ取り、思ったことや感じたことを、大まかに書きましょう。

【聴2】上記のような気分になったのはなぜでしょう。大きく三つの旋律が表れたことに気付きましたか？教科書にも「せんりつ1・2・3」の図が描かれていますね。では先生も、CDの13～15をじっくりと聴いて、三つの旋律の違いを表現しましょう。

(1) 旋律の動きを、線や形、言葉で表現してみましょう。

音の上がり下がりにこだわらず、形でも色でも良いです。違いが分かれば良いのです。

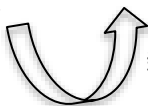
1



綿？

黄色、お花畑

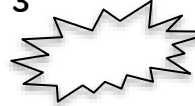
2



新体操のリボンのような…

ピンク、舞踏会

3



ギザギザ

紺、油絵

(2) バイオリンの音色も、旋律ごとに違って聴こえるのではないのでしょうか。言葉で表現してみましょう。

対にしたり [柔らかい or 硬い] [温かい or 冷たい] [浅い or 深い]
例えたり [ふわふわ] [○○のような音] ※教科書 p 76 も参考に。



【聴3】旋律の雰囲気からイメージしたことや気持ちを書きましょう。

【聴1】で大まかに書いたことを、より具体化してみましょう。全て書けなくても良いです。「書けたところ＝自分のお気に入り」と捉えて、楽な気持ちで聴きましょう。

【聴4】CDのトラック16で、曲全体を味わって聴き、この曲の良さやお気に入りの部分を紹介しましょう。【聴2・3】で表現したことを結びつけて書くと良いですよ。

コツは、「格好良く書こう」と思わないことです。素直に表現しましょう。



気が付いたら、10回近く聴いていました。1曲の中に、こんなにたくさんの変化があるんですね。「視点」をもつことは、どの教科でも共通ですね。

そのとおり！素晴らしいことに気付きましたね。その「視点」が「共通事項」です。今回は、「旋律」と「音色」に絞りました。先生は何を視점에しますか？

子どもたちは、その豊かな感性で、私たちが想像も付かないような素晴らしい発見をします。授業では、先生が説明するのではなく、子どもたちに何度も聴かせてたくさん感じ取らせ、言葉で表現させることが大切です。そしてその一つ一つに、「素晴らしい」「なるほど」と言葉をかけることはもっと大切です。時には、「どうして？」と問い返し、「すごい」「きれい」を別な言葉に置き換えさせましょう。先生の言葉かけ一つで、子どもたちに安心感を与え、感性がどんどん豊かになります。

いかがですか。楽しく聴けましたか？ 次回もお楽しみに！





【聴1】全体の印象、感想

--

【聴2】三つの旋律の特徴

(1) 旋律の主な動き ※はみ出しそうな人は、裏に自由に書きましょう。

1	2	3

(2) バイオリンの音色

1 (トラック13)	2 (トラック14)	3 (トラック15)

【聴3】雰囲気からイメージしたこと、自分の気持ち

旋律	いつ、どこで、だれが(何が)どうした	自分の気持ち
1		
2		
3		

【聴4の前に…ゆとりのある人へのおまけ】各旋律とも、一つのまとまりが繰り返されます。速さや高さの変化など、気付いたことや好きなところがあれば書きましょう。

旋律	2回目の登場(速さや高さの変化)	好きなところ
1		
2		
3		

【聴4】この曲の良さやお気に入りの部分の紹介



「ユモレスク」（ドボルザーク作曲）



【聴1】全体の印象、感想

最初はスキップするようなくきうきする感じ。途中、ペアで優雅に踊っている。急に激しくなると、せつなくなった。最後は気持ちがほっとした。

【聴2】三つの旋律の特徴

(1) 旋律の主な動き ※はみ出しそうな人は、裏に自由に書きましょう。

1	2	3
ふわっふわ、って何回かまで上がって ふわっふわ、って何回かまで下がる。	急に上がって波打つように 下がる、みたいな。	太い直線でザザザー みたいな鋭い感じ。

(2) バイオリンの音色

1 (トラック13)	2 (トラック14)	3 (トラック15)
ふわふわした柔らかい感じ。	低いところは太いけど、高くなる時に細くなる。お習字のハネみたい。	深くて心の底からの泣き声みたい。

【聴3】雰囲気からイメージしたこと、自分の気持ち

旋律	いつ、どこで、だれが(何が)どうした	自分の気持ち
1	春の暖かい日、森の中でピクニックをしている。	うきうきする。
2	お城の中で、舞踏会が開かれている。上品なスイーツと紅茶をいただいている。	穏やかで幸せな気持ち。
3	とても辛いことがあって、雨の中、泣き叫んでいる。	胸がぎゅーっと苦しくなる。

【聴4の前に…ゆとりのある人へのおまけ】各旋律とも、一つのまとまりが繰り返されます。速さや高さの変化など、気付いたことや好きなところがあれば書きましょう。

旋律	2回目の登場（速さや高さの変化）	好きなところ
1	あまり分からない。	弾む動き。
2	ゆっくりになる気がする。あと、音が小さくなっているように感じる。	高くなるときに、線が細くなる場所。ロマンチック。
3	1オクターブ高くなる。早巻きになったりハモったりもする。	2回目でハモって音が重なると、より一層切なくなる。

【聴4】この曲の良さやお気に入りの部分の紹介

最初、うきうきする気持ちになりました。春の日に森の中でピクニックをしている気分です。旋律のリズムがふわっふわと弾んでいるからかと思いました。急に舞踏会の様子が思い浮かびました。大きな音で低いところから高いところへ上がる時にどきどきしました。繰り返したときには音が小さくなって、大切なものを抱いているようです。私のお気に入りの、直線的な動きになる旋律3です。音色が深くて号泣しているようです。特に音が高くなって重なったとき、胸がぎゅーっとして切ない気持ちになりました。

